

山梨県若者海外留学体験人材育成事業（大学生等コース）

県政の課題（テーマ）報告書

令和2年11月30日

山梨県知事 殿

氏 名 中込美鈴
留 学 先 ベトナム国家大学
留学期間 令和元年8月26日
～令和2年3月31日

1 研究の課題（テーマ）

農村地域における新しいビジネス創造

2 概要

与えられた県政の課題（テーマ）の解決に導く考え方及び対応策等

・山梨県内アグリビジネス促進のためのベトナム農村地域調査

ベトナム留学中4か所の農村地域を訪問した。

この機会に農村地域に暮らす人々の人柄や思いを知ることができた。また、農村地域の滞在を通してグリーンツーリズムを実際に体験した。村でしかできない体験型アクティビティの提供や村でのおもてなしは、住民の想いをとても感じることができた。農村地域での観光について山梨県での実践も可能であると感じた。私の地元である南アルプス市に焦点を当てる。自然に囲まれ果樹栽培や米



作りの習慣がある南アルプス市ではグリーンツーリズムを推奨するための環境がすでに準備されていると考えられる。その資源を旅行者に提供する方法として提案したいのが、中長期型の農業体験である。このビジネスを考えるうえで、農村地域の観光については地元の人たちの協力が重要になってくる。そのため帰国後も農村地域についてより知識を増やし、山梨県でのビジネス構築の際には、グリーンツーリズムとアグリビジネスについてベトナムの事例と掛け合わせた説明が地域の人々にできるようにしていく。



また、ベトナムには日本で働きたいと思っている若者が多くいる。実際に山梨県のベトナム人労働者の雇用数を見ると近年急激に数が増えている。山梨県にとって欠かせない存在になっている外国人労働者のニーズにこたえ、働きやすい環境を整備していくことが重要となってくる。山梨県の労働人口問題の解決のため、日本で働きたい、働いた経験があるというベトナム人の調査は留学中に充分ではなかったが、帰国後も友人と連絡を取りながら続けてい

く。

・新しいビジネス創造のためのベトナム宿泊施設調査

ベトナムにおいて 5 つの宿泊施設の調査を行った。宿泊施設により利用客の種類が異なり、利用客に合わせたおもてなしがあった。例えば朝食である。その宿泊施設に日本人の方が多いのであれば日本食、欧米の方が多いのであればパンケーキなどがメニューの中で選択できるようになっている。また、農村地域などでベトナム人の暮らしを体験したいという場合であれば、宿泊施設はその地域で収穫した農作物を使ってベトナム料理をふるまう。また、ベジタリアン向けの



食事なども用意されているところもあり、観光地では他国の食文化に対応しているところもある。このように、利用客のニーズを理解し接することは重要である。

ベトナム人のベトナム人向けの農業体験や宿泊施設の構築には、ベトナム人への理解が必要不可欠である。ベトナム人の性格として、まじめで勤勉な人が多いと感じた。そのため、語学への向上心や日本で働きたいという思いから新しい知識を身につける努力をする。また、家族や親戚など人脈を大切にすることもベトナム人の特徴であると考えられる。



ベトナム人と交流を深め、彼らについてより理解を深めることで、山梨県への誘致に大きくかかわることができると思った。留学は途中で中断してしまったが、留学中に会ったベトナム人の方から、ニーズの調査と理解を引き続き行っていきたい。

3 添付書類

詳細について、図・表・写真などの資料も含めてA4縦版5枚以内にまとめて報告してください。

※パソコン・ワープロの使用可（使用する文字は12ポイントとしてください。）